

平成27年度学校評価アンケート結果

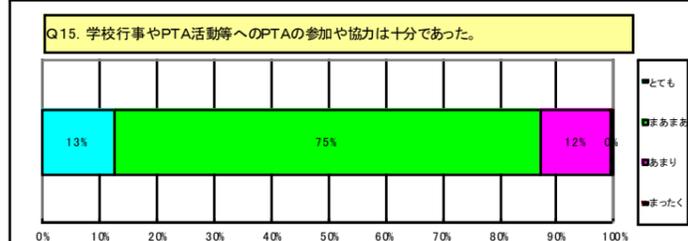
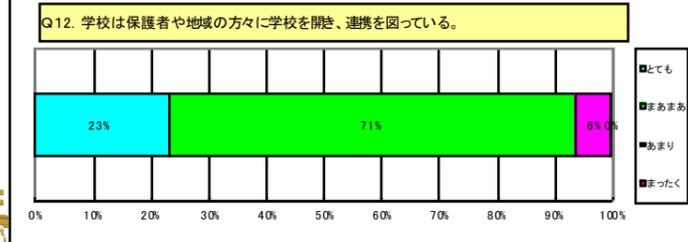
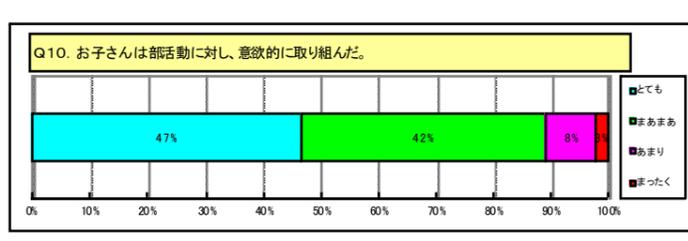
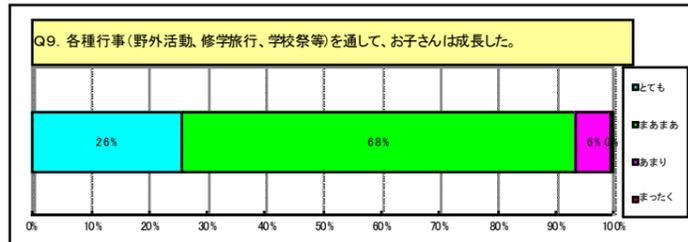
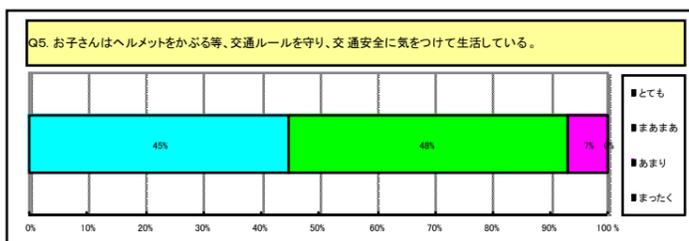
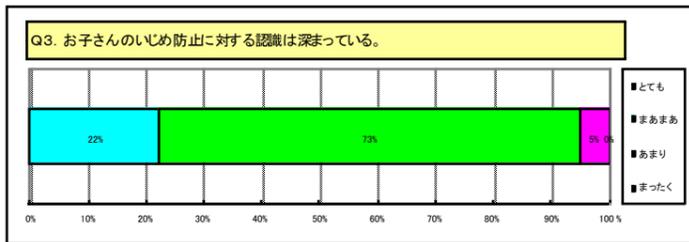
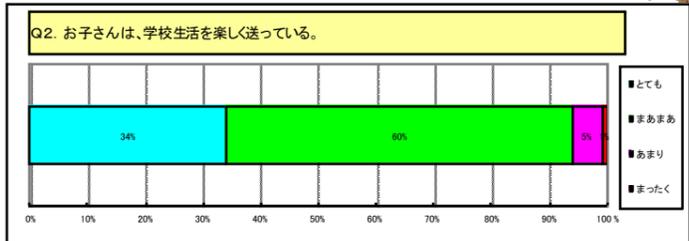
平成28年3月1日

愛西市立佐織中学校

2月1日に依頼しました平成27年度学校評価アンケート集計がまとまりました。短い期間でのアンケートへの協力ありがとうございました。この1年、保護者の皆様には本校の学校教育に関してご理解とご協力をいただきました。各種行事にも数多くの参加をいただき保護者の皆様が佐織中学校の教育について高い関心を持っていただいていることを強く感じました。

保護者の皆様の声を聞かせていただくことで、佐織中学校の現状を把握し、今後の学校運営の組織的・継続的な改善を図ることができます。そのためには、保護者の皆様との連携・協力が大切であると考えています。この結果を踏まえ、さらに保護者、地域の方々からの理解と参画を得て学校づくりを進めていこうと考えています。学校評価の設問の中から、集計の結果が顕著なものを抜粋し、報告させていただきます。(ホームページにも掲載中です。)

高い評価を得た項目



前期に続いて、今回も「学校生活を楽しく送っている」「いじめ防止の認識が深まっている」という項目に高い評価をいただきました。今年度は人権につながる映画を鑑賞しました。また、生徒会が中心となり、オレンジリボン運動についての見直しをしたり、市の人権擁護委員会の方に話をいただいたりして、いじめを防ぐために自主的に活動してきました。『いじめ防止』に向けて生徒一人一人の意識づけを重点に取り組んでいます。これが成果としてあらわれたと考えています。

続いて、交通安全についての項目にも高評価をいただきました。年々、減ってきていますが地域の方からは自転車の乗り方についてご指摘をいただいています。朝礼時やランチルームでの給食時に全校に向けての講和や諸注意を行い交通安全、交通マナーについて適宜啓発を行っています。また、定期テスト時には、交通指導を行い、各ポイントに立って生徒のマナーの向上に努めています。徹底というところまでは至っておらず、粘り強く指導をしていく必要があると考えています。

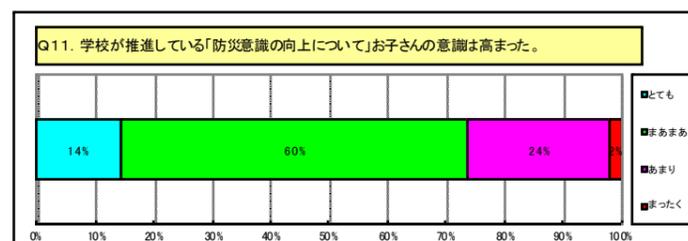
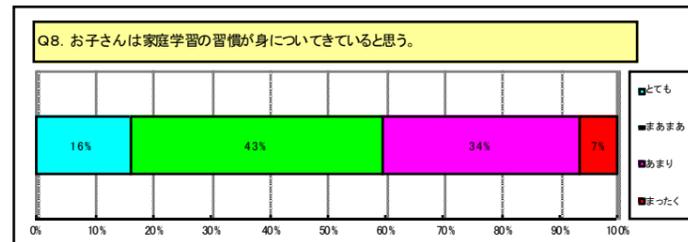
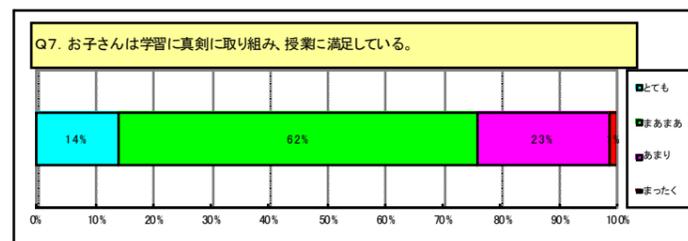
「命の大切にし、社会のルールを守る」についての項目にも高評価をいただいています。養護教諭がリーダーシップをとり、いのちの授業では、市在住の母子を招いて乳児と母親とふれあい、警察の方、薬剤師さんを招いての薬物乱用防止教室、市の消防士を講師としてのAED講習等を開いたりして、命の教育に取り組んでいます。毎年の積み重ねが結果につながっています。

部活動においては保護者の方々の多大なる応援や協力をいただき、各種大会で活躍することができました。ソフトテニス部、吹奏楽部、バスケットボール部男女、陸上、水泳において県大会出場という成果をあげることができました。ありがとうございました。「給食試食会」「防災教室」「学校祭」

等各種行事に地域の回覧を通して参加の働きかけを行ったり、地域の防災ボランティアの方々の協力を得て教室を開催したり、多くの地域の方の力を得ることができています。また、保護者の方々の参加も積極的に得ることができました。地域、保護者のみなさまの本校への関心の高さが感じられました。今後も学校の便り、ホームページ、地域の回覧を利用し開かれた学校づくりを進めてまいりたいと考えています。



今後の課題として受け止めたい項目



本校のほとんどの生徒は授業に真剣に取り組んでいます。年度の後半になるにつれて集中力が途切れる生徒も見られるようになってきました。生徒が授業に意欲的に取り組むことができるよう発問や教材の提示等、授業における展開の工夫を私たち教師が努めていかなければいけないと感じています。日々の授業の積み重ねが卒業後の進路、将来の夢へとつながっていくことを意識させて進路学習の充実も図っていきたくと考えています。また、家庭学習の習慣化について課題があります。これは毎回低い評価となっています。本校では、生徒の基礎学力の向上、学習意欲の向上に欠かせないものと考えています。基礎学力の定着には、授業を大切にだけでなく、学校で出される宿題を確実にやり遂げることが必要です。年度の後半になるとその提出状況が悪くなってきます。生徒を個別に指導し、提出できるように各教科担任は粘り強く、取り組んでいます。学校ばかりではなく家庭での協力を得て学習習慣を身につけさせていきたいと考えています。防災に関しては避難訓練、防災教室を中心に行っています。1年生を対象に避難所体験、災害時における避難所の開設、避難者としての対応、ボランティア等、実体験を主とした取り組みをしています。生徒の意識がさらに高まるよう指導の工夫を図ってまいります。